

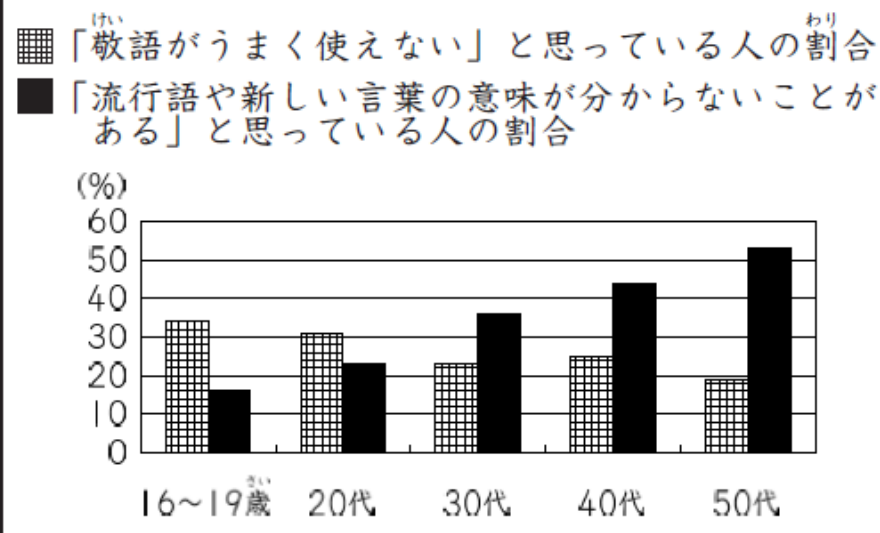
このプリントは、全国や大阪府の学力・学習状況調査などで、小学生のみなさんが苦手としている問題を集めたものです。挑戦して、あなたのこれからの学習に役立ててください。

H20 全国 A 問題

調べて分かった事実や理由を明確にして、自分の考えを効果的に書くこと
 与えられた条件にあわせて 資料や情報に基づいて書くこと
 分かったことや自分の考え、感想を書くこと
 ポスター等、わかりやすく表現を工夫して書くこと

課題

【資料】言葉づかいで困っていること



(文化庁「平成18年度国語に関する世論調査」による)

高田さんは、次の【資料】をもとに、「言葉の使い方」についての報告文を書くことにしました。アの書き方のように、イの

【メモの一部】

ア 「敬語」がうまく使えない」と思っている人の割合は、十六歳から十九歳までがもともとも高く、年齢が上がると減っていくようすが見られる。

イ 「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と思っている人の割合は、

十六歳から十九歳までが、

H21 全国 B 問題

六年生の山中さんは、「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を読んだ。そこで、自分たちの小学校における五十メートル走の平均タイムの変化について調べ、次の報告文を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

五十メートル走の平均タイムの変化

第一小学校 六年 山中 洋平

一 調べた理由

「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を見つけた。そこには、全国の小学校六年生の五十メートル走の平均タイムが下の【表】のようにまとめられていた。平成十九年のタイムが、二十年前の昭和六十二年よりもおそくなっていた。

【表】50メートル走の平均タイムの変化 (全国の小学校6年生)

男子		女子	
昭和62年	平成19年	昭和62年	平成19年
8秒60	8秒91	8秒91	9秒19

(右下に続く)

二 調べた内容と結果

ぼくたちの学校でも同じだろうかという質問がわいてきた。そこで、第一小学校の平均タイムの変化について調べ、記事と比べてみることにした。

二 調べた内容と結果

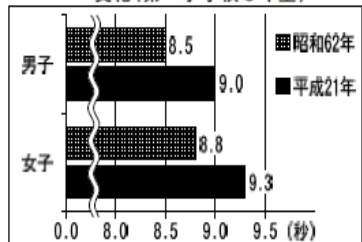
第一小学校における六年生の五十メートル走の平均タイムの変化について、平成二十一年（現在）と、昭和六十二年（記事で取り上げられていた約二十年前）を取り上げて調べた。

(左上に続く)

三 まとめ

平成二十一年と昭和六十二年の第一小学校の平均タイムを、下の【グラフ】のようにまとめた。

【グラフ】50メートル走の平均タイムの変化(第一小学校6年生)



A

調査をきっかけに、もっと速く走れるようになるにはどうすればいいのだろうかを考えるようになった。

これからも、体力や運動の仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に運動に取り組んだりしたい。

(右下に続く)

山中さんは、報告文の A の中に、調べて分かったことを書きました。あなたならどのような内容を書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 第一小学校の六年生の平均タイムの変化がわかるように書くこと
- 報告文の「二 調べた理由」に書かれた内容と結びつけて書くこと
- 八十文字以上百字以内にとめて書くこと

100字 80字

調べて分かったことを読む人に分かりやすく伝えるためには、問題文とその中のグラフをよく読むこと、何を知りたくて調べたのか、調べてどうだったのかを書くことが大切です。

一度下書きをしてから、自分で読み返し、より簡単で分かりやすい言葉に変えましょう。

